

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 12 / 2016 # 41

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『夏といえば』

[2] Pepeのひとりごと

『刺激を受け取るために』

[3] おすすめ動画

『Marco Pierobon - Aquilanti's Trumpet Concerto for Trumpet and Wind Band』

『The World Trombone Quartet/Duo on Sarah's Horn Hangouts』

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『夏といえば』

夏といえば夏休み！

・・・でも、日本の音楽界の大きなパーセンテージを取っているのは「吹奏楽コンクール」ですよね。

今年も、全国各地で熱い演奏が繰り広げられているようです。

僕も、ごくわずかですが今年もいくつかお手伝いをさせていただきました。

コンクールですから、結果に関してはいろいろとあるでしょう。
僕も、吹奏楽やソロで、コンクールに関してはいろいろな経験をしてきました。

その経験をどのように活かすのかはその人次第。

その活かし方、僕はいろいろとやってきましたよ～～。
そういう経験で僕はできていると言っても過言ではない?? (笑)

ものは考えよう、捉えようです。

吹奏楽コンクールを受けた90%以上の人は、最終的に残念な結果を受け入れるのだと思います（統計的に考えて）。
と考えると、大切なのはその後の過ごし方！
みんな、重要になってくるのは（未来を変えていくのは）ここですよ！！

[2] Pepeのひとりごと

『刺激を受け取るために』

なかなかスケジュールが合わなくて行きたいコンサートに行けないでいるのですが、そんな中でもいくつかのコンサートには足を運ぶことができました。

ソロだったりアンサンブルだったりするのですが、やっぱりコンサートを聴くのは勉強になるし、何よりいい刺激になりますね！！ :D

僕くらいの歳になってくると、演奏面だけでなく、運営面などでもいろいろと勉強になることがあり、本当に得るものはたくさんあります。

生で聴く演奏から得られるものは、とっても貴重なものです（実際に体験しないとわからないものですが）。

みなさんも、ぜひ一つでも多くの生の演奏に触れてみてくださいね！ :)

[3] おすすめ動画

『Marco Pierobon - Aquilanti's Trumpet Concerto for Trumpet and Wind Band』
<https://www.youtube.com/watch?v=dcLVTCz0hiU&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4>

今月一つ目の動画は、僕の大好きなTrumpet奏者の一人、Marco Plerobon氏の演奏です。

彼の演奏はとても個性があって、音楽的で数年前から大好きになりました。

この動画では譜面もすべて見れるので、どのくらい簡単そうに聴こえているのかがよくわかりますね（笑）。

いつか、彼と共演したいなあ。

さあ、今日もがんばろう！！ :D

『The World Trombone Quartet/Duo on Sarah's Horn Hangouts』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=5PeNQKyjknE&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

[v=5PeNQKyjknE&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6](https://www.youtube.com/watch?v=5PeNQKyjknE&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6)

2つ目の動画は、前号の「旬な話題、気になる話題」でも紹介したTrombone界の大イベント、ITF(International Trombone Festival)の中で行われた「Sarah's Horn Hangouts」のインタビューの動画です。

ここでは、ITFの中でコンサートも行った「The World Trombone Quartet」の演奏も少しあります（最後に）。

お楽しみくださいね～！ :D

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 2』

前号では、リップスラーについての僕の捉え方、考え方を書きました。

今回は、具体的な練習のやりかたについて書いてみますね。

（今号から読み始めた方は、ぜひ前号も読んでみてくださいね。

過去のものも無料で読めますよ）

前号でも書きましたが、リップスラーの練習に関して一番よく言われるのは

「リップスラーはなめらかにやりましょう」

ということだと思えます。

これは、まさにそうです。 :)

ここで、僕が重要なこととして伝えたいことは、そこまでの行き方なんです。

細かい説明をしていると長～くなってしまうので、おおまかに、かつ具体的に書いていきますね。

まず、リップスラーをするときには、音の移り変わり方よりも、吹く音それぞれに注意を向けてみてください。

B♭ - F - B♭ (オクターブ違い) - F - B♭ (最初と同じ音)

上の3つの音を使ったリップスラーを例にしますね。

ここで、音の移り変わり方に注意を向けて「繋がっていない」や「段差ができてる」と考えるのではなく、まずこれら3つの音がちゃんと同じ音になっているのかどうかに注意を向けてみるんです。

うまくいっていない場合、5つ(5種類)の音が聴こえます。
吹く音は3種類ですよ？
そこに注目してみるんです。

音程はもちろんです、それだけではなく、音の軽さ、質なども含めて厳しく聴いてみてくださいね。

簡単に想像できることですが、下から上がってきた音と上から下りてきた音を同じ音にすることは、簡単ではありません。

また、アンブシュアも、同じ「感覚」で吹くとうまくいかないことが多いと僕は感じています。
(「同じ音を出す」というのではなく、「全く同じ音を出す」というイメージで)

実際、僕は「全く同じ音」を求めるため、同じではないアンブシュアで吹くことが多いと自分自身では感じています(この辺は感覚の問題なのであえて断言はしませんが、同じアンブシュアだからといって同じ音が出るとは限らないと僕は考えています)。

大切なのは、同じアンブシュアで吹くことではありません(これは自己満足につながっていると僕は考えています)。
同じ音を出すために多少なりとも同じではないアンブシュアで吹くことは、ごくごく普通にあることだと僕は考えています。

同じアンブシュアで吹いてるんだから！って言って違って聴こえる音をお客さんに同じ音のように聴け！と強要することはできません(僕は、これはやってはいけないことだと思っています)。

同じ音かどうかを判断するのは聴いている人たちです。
僕たち演奏家は、その判断の下、音を作っていくべきだと思います。

(その際に吹いている口の形や口の中の状態が同じかどうかなんて、
聴いている人にとっては全く関係のないこと)

ここで自分に甘くならないで、厳しくチェックしながら練習を
重ねていくと、いろいろな発見が出てきますよ。

もうすでに長くなってしまいましたね・・・。
次のステップについては、次号に持ち越します。

それまで、今までやっていたリップスラーを使って、
上に書いたことを確認してみてくださいね！！

編集後記

毎日暑～～い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしですか？
今年の暑さは、本当に殺人的ですよ。

この暑さに屈せず、生き延びていきましょう～！！ :D

僕の練習している部屋にはエアコンがありません。
防音室はないので練習用ミュートを付けて練習をしているのですが、
扇風機と汗ふきタオルと一緒に頑張っています。

練習で大汗をかいたあと、すぐに水シャワーを浴びるのが今の
大好物！(笑) ;)
でも残念なのは、シャワーからは冷たい水ではなくぬるい水が
出ること・・・(涙)。

ぬるい水にも負けず、これからも頑張っていきます！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com